

東北地方 1か月予報

(9月21日から10月20日までの天候見通し)

平成14年9月20日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並か高い、3～4週目は平年並か低い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 9月21日(土)～10月20日(日)

1週目 : 9月21日(土)～9月27日(金)

2週目 : 9月28日(土)～10月4日(金)

3～4週目 : 10月5日(土)～10月18日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報 : 毎週金曜日14時30分 次回は9月27日

3か月予報 : 9月24日(火)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	15.7	165.8	135.8	17.8	16.6	14.6
新庄	14.6	135.1	106.4	17.2	15.7	13.3
若松	15.5	89.0	115.2	18.1	16.6	14.2
深浦	15.4	158.1	144.3	17.6	16.3	14.2
青森	14.8	95.7	157.3	17.3	15.8	13.4
むつ	14.3	127.9	158.7	16.6	15.2	13.0
八戸	14.8	91.0	155.9	17.2	15.7	13.6
秋田	15.7	145.9	151.5	18.2	16.8	14.4
盛岡	14.0	99.3	142.2	16.6	15.0	12.7
宮古	15.0	150.8	143.1	17.2	15.9	13.9
酒田	16.7	159.7	144.7	18.9	17.6	15.5
山形	15.4	87.0	125.5	17.9	16.4	14.1
仙台	16.8	143.8	136.3	18.9	17.7	15.6
石巻	16.2	125.5	145.6	18.4	17.1	15.1
福島	16.8	124.0	125.4	19.1	17.8	15.6
白河	15.2	142.9	124.3	17.4	16.1	14.0
小名浜	17.9	182.2	136.8	19.8	18.7	16.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.2	77~110	94~106
東北日本海側	-0.6~+0.2	81~115	94~106
東北太平洋側	-0.5~+0.2	74~112	94~108

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.4	-0.6~+0.5	-0.5~+0.5
東北日本海側	-0.6~+0.4	-0.6~+0.5	-0.6~+0.5
東北太平洋側	-0.5~+0.4	-0.5~+0.5	-0.5~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めています(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成14年9月20日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(9月21日～10月20日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(9月21日～9月27日)：

期間の中頃、気圧の谷の影響で天気が崩れるでしょう。その他の日は、高気圧に覆われおおむね晴れる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(9月28日～10月4日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3～4週目(10月5日～10月18日)：

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

平年の晴れ日数

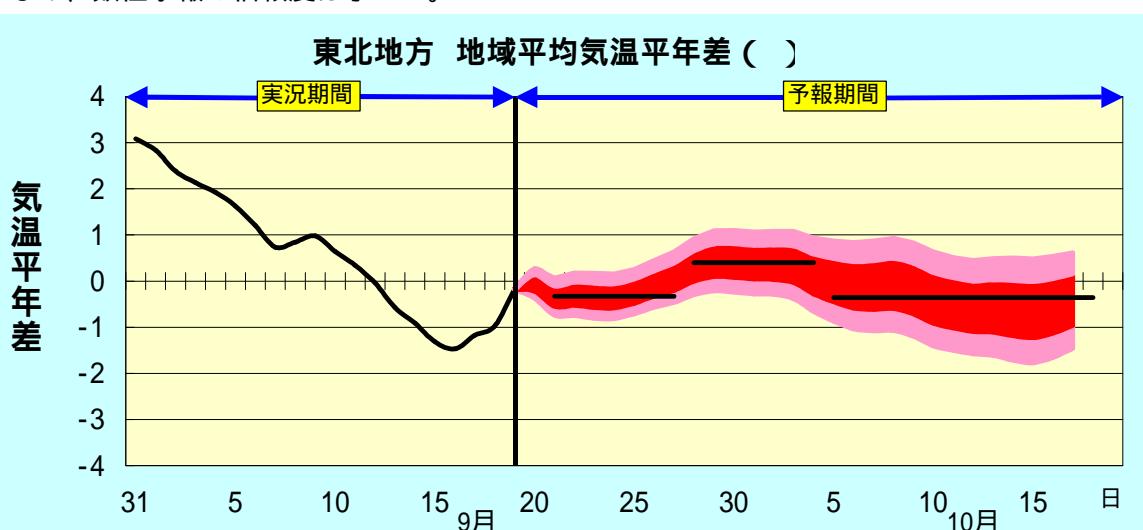
	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	13.6日	3.3日	3.6日	6.7日
東北太平洋側	14.7日	3.4日	3.6日	7.7日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、各週とも「平年並」を予測している。

予報は、その他の資料から2週目を「平年並か高い」、3～4週目を「平年並か低い」に変更するほかは、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

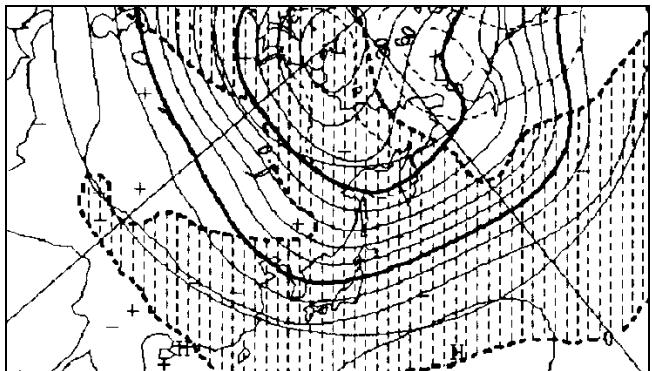


* 実況期間(図の左側)の太い実線：東北地方地域平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

* 水平な3本の実線：予報期間の1週目、2週目、3～4週目についての多数の平均。

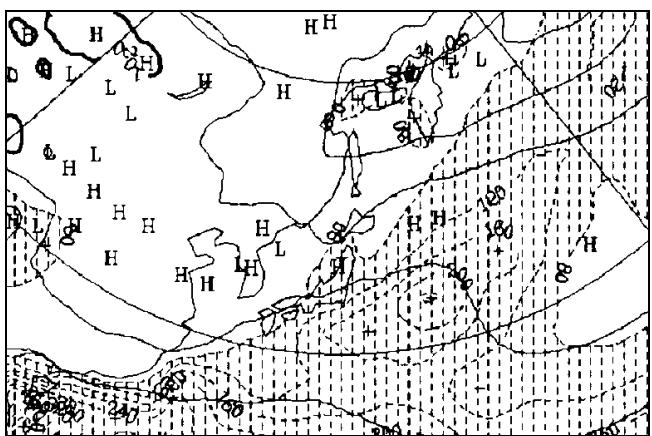
3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、日本付近は負偏差域に覆われ、沿海州から朝鮮半島付近が弱い気圧の谷となる。偏西風の流れは順調で、天気はおおむね周期変化する見込み。

週別（図略）では、2週目は日本の東海上が正偏差となり、朝鮮半島付近の気圧の谷が明瞭となる。3~4週目は東海上の高度場が下がり、東北地方は北からの寒気の影響を受ける時期がある見込み。



地上気圧と降水量

月平均で見ると、東北地方は東西に広がる高圧帯に覆われ、秋雨前線に対応する降水域は、日本の南東海上に予想されており、東北地方には弱い降水域がかかっている。

週別（図略）でも、概ね月平均分布に近いが、3~4週目は高圧帯がやや南下する予想。

4. 最近1週間（9月13日～9月19日）の天候の経過

この期間、東北北部では天気が周期的に変わり、16日から18日にかけては低気圧や寒気の影響で曇りや雨となったが、その他の日は高気圧に覆われおおむね晴れた。東北南部では秋雨前線や低気圧の影響を受けやすく、19日に全域で晴れた他は、曇りや雨の所が多かった。

平均気温は、東北地方で平年差-1.5と低かった。降水量は、東北地方で平年比75%と平年並だった。日照時間は、東北地方で平年比94%と平年並だった。

